



12月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2024年12月1日

保育目標 精進 つとめます

- ・成道会のお話を聴き、みんなでお祝いをする。
- ・冬の遊び、伝承遊びに挑戦してみる。

2・23日 礼拝 6日 成道会・保護者会役員会
発育測定(11日 ぞう・きりん 12日 うさぎ・りす
13日 あひる・ひよこ) 18日 わくきら♪リハーサル
20日 わくきら♪パレード(ぞう・きりん) 延長保育なし
23日 クッキー作り 24日 誕生会 24日 避難訓練
27日 特別保育 28・1/4 土曜日特別保育なし
29日～1/3日お正月休み



「異年齢保育」

11月よりうさぎ・りす組が部屋を広くして合同保育になりました。2歳児が3月からスムーズに以上児異年齢保育に移行できるように、また、未満児も異年齢の多様な子どもたちの関わりが、どの子にも新しい育みをもたらせてくれるからです。

最初は、広くなったお部屋であちこち探索することを楽しんでいましたが、今では、好きな遊びをたくさん選択肢から見つけ、ゆっくり楽しむことができるようになってきました。お散歩も長い距離、短い距離様々でしたが、避難訓練では、交流センターまで全員がしっかり歩いて行くことができました。絵本を先生が読み語りする時は、みんなが見えるように場所を譲ってくれたり、園庭側の駐車場にクレーン車や救急車(消防署の立入検査)が来た時も、お友達に知らせに行ってくれています。お外に遊びに行く時は、うさぎ組がりす組の靴を優しく履かせてくれます。トイレに行きたくなった子がいると、手を繋いでお部屋の前まで、先生の代わりに連れて行ってくれています。

また、ぞう、きりん組のお友だちも希望者が、うさぎりす組、あひるひよこ組に遊びにきてくれています。自分より小さいお友達とふれ合うことが初めての子もいます。反対に、うさぎ組のお友達も2階に上がって、ぞう・きりん組のお部屋で遊んでもらっています。おやつが終わった4時ぐらいからお帰りまでの間、様々な異年齢の関わりが、園内あちこちで生まれてくると思います。

11月は、ほし組が小学校を訪問して交流させていただく中で、「こんな小学生になりたい、小学校はこんなことができるんだ」と、希望を持つ経験ができました。シルエットを観劇し、他の保育園の園児と関わりができました。避難訓練では、地域の様々な方に見守っていただき、顔見知りになっていけることも、何よりうれしい佐山の宝物です。



【法話】

しょうどうえ
成道会

「成道会」とは、お釈迦さまが、お覺りをひらかれた日をお祝いする行事です。

インドで一国の王子として生まれられたお釈迦さまは、29歳の時、地位も名誉も財産も家族も捨てて、真実のさとりをもとめて出家修行にはいられました。6年の間、多くの師のもと、苦行をされましたが、身も心もおとろえるばかりでした。これではとてもさとすることはできないと山を下り、尼連禪河で身を清められました。そして村娘スジャータの差し出した乳がゆで体力を回復され、ピッパラ樹(覺られたので菩提樹)の下で静かに瞑想にはいられたのです。そして12月8日、あかつきの明星がひととき強くまたたくとき、完全な真理の法を覺られたのです。

その覺りとは、縁起の法のこと、<わたし>は多くのいのちによって生かされ、また逆に多くのいのちを生かしていく存在であること、その尊い<いのち>を生きていく道を、仏教・仏道として、お釈迦さまは、<わたし>に、教えて下さいました。 合掌

